

畜産物の需給・流通関係ヒアリング御協力者の概要

本郷 秀毅 （所属）一般社団法人日本乳業協会
（役職）常務理事



【団体概要】

- ・ 設立年 2000 年 3 月
- ・ 会員団体数 企業会員 19
 都道府県協会 44
 団体会員 3

【組織の概要】

- 一般社団法人日本乳業協会は、乳業事業の改善並びに牛乳・乳製品の衛生及び品質向上、普及・啓発、環境への対応を図ることにより、日本の酪農乳業の健全な発展及び国民の公衆衛生の向上に資することを目的としている。このため、常に会員の要望や期待される機能を踏まえ、関係団体や会員企業と連携して取り組むことを基本として事業活動を行っている。
- 地域を中心に事業を行っている乳業メーカーは都道府県協会の会員となっているため、日本の乳業メーカーのほとんどが直接または間接に当協会の会員となっている。

第2回畜産部会ヒアリング

酪農の安定・調和・発展の実現に向けて
— 安定的な酪農乳業を次世代につなぐために —

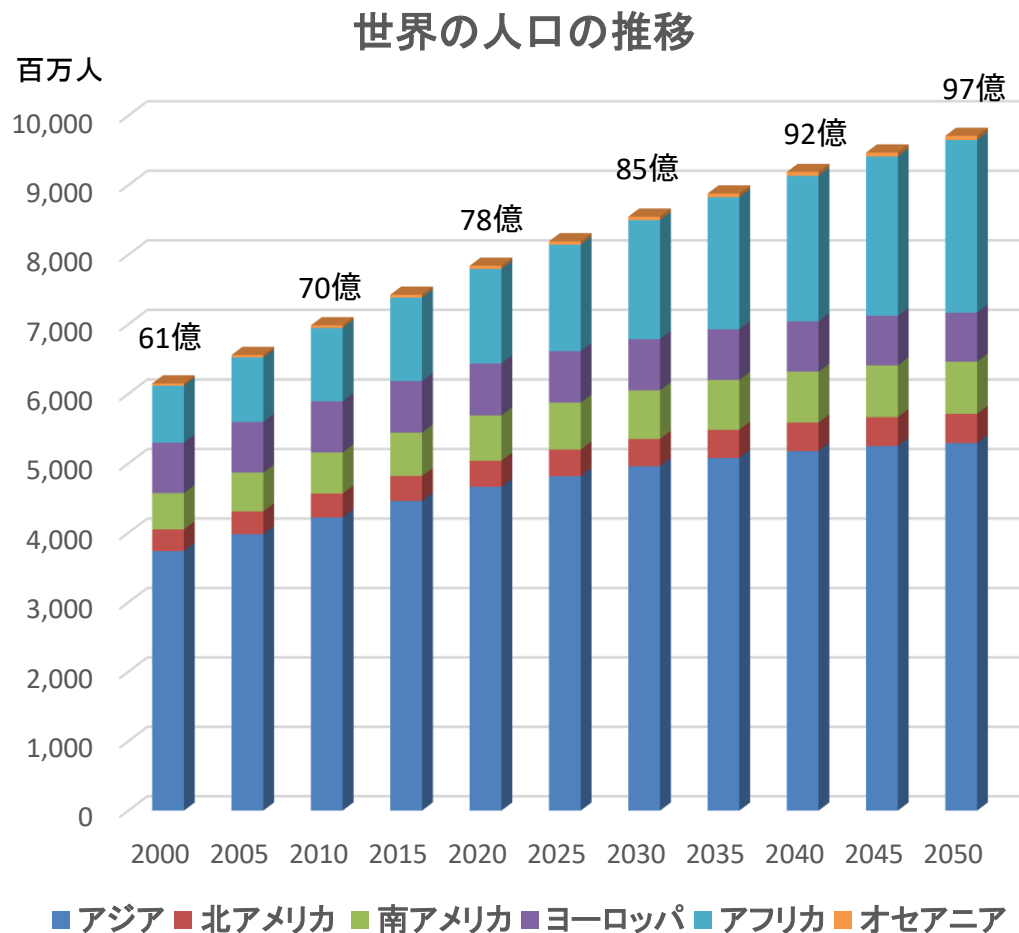
2024年5月24日

(一社) 日本乳業協会 本郷 秀毅

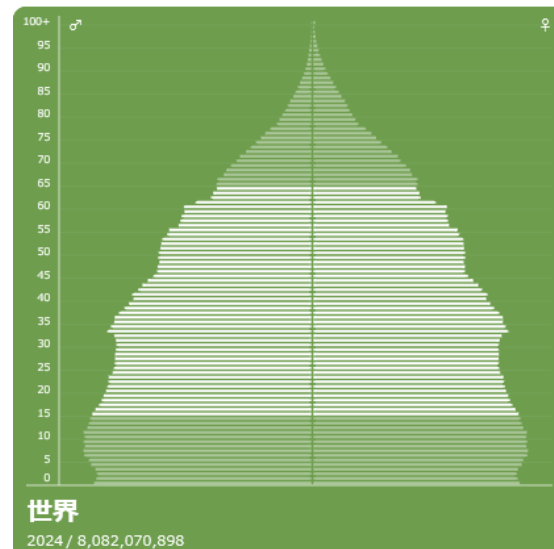
Index

- 1 世界の生乳需給と日本への示唆
- 2 酪農と並走する乳業の基本的な役割
- 3 酪農乳業の現状
- 4 課題
- 5 仮定：対策なしで対応した場合に生じる課題
- 6 次世代に向けて

1 世界の生乳需給と日本への示唆



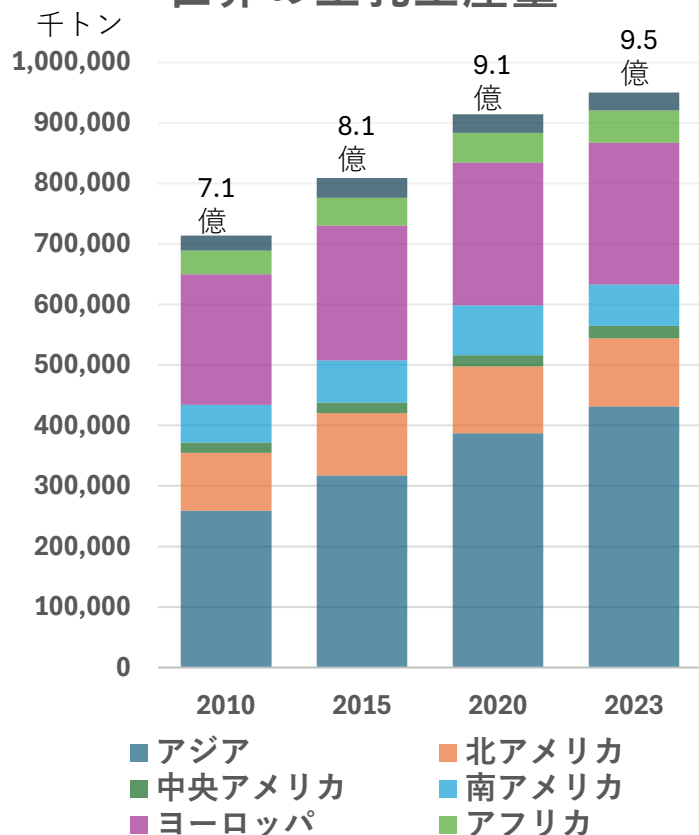
➤ 今後、世界の人口は増加し、牛乳乳製品の需要は人口の増加以上に増加



データ元: 総務省統計局

1 世界の生乳需給と日本への示唆

世界の生乳生産量



データ元: ミルク国際委員会

➤ 世界の生乳生産量は漸増傾向で推移するものの環境規制の強化等により、生産の伸びが制約

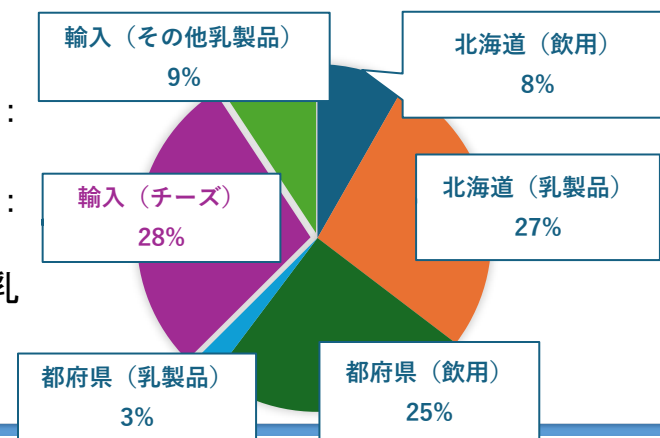


➤ 世界の生乳需給は次第にタイトになっていく可能性



➤ 以前にも増して、今後、海外から乳資源の調達が次第に困難になっていく懸念

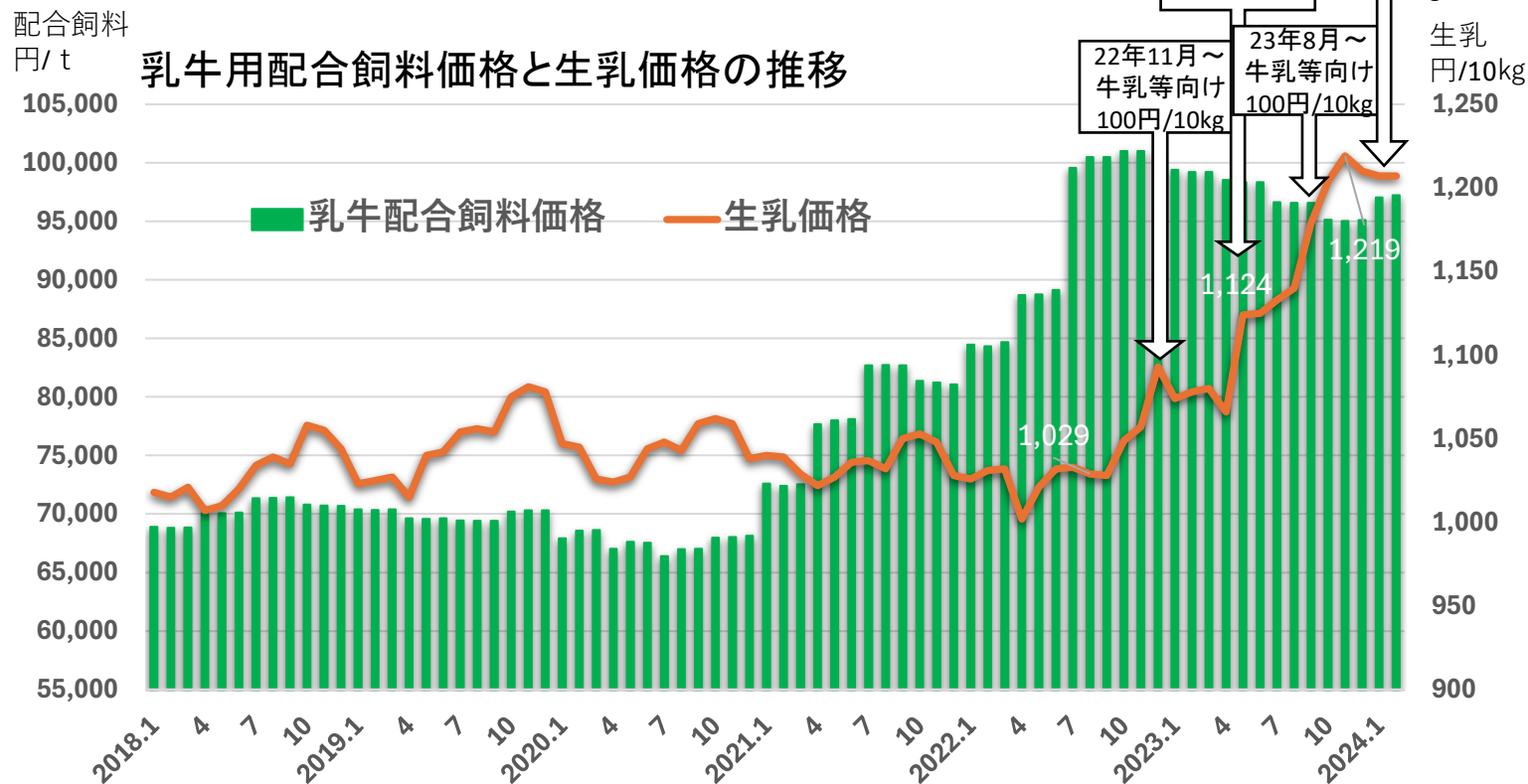
2022年度
 国内生乳需要量:
 1,194万トン
 国内生乳処理量:
 749万トン
 輸入乳製品(生乳
 換算):
 445万トン



データ元: 農林水産省牛乳乳製品統計

3 酪農乳業の現状

(1) 酪農の現状

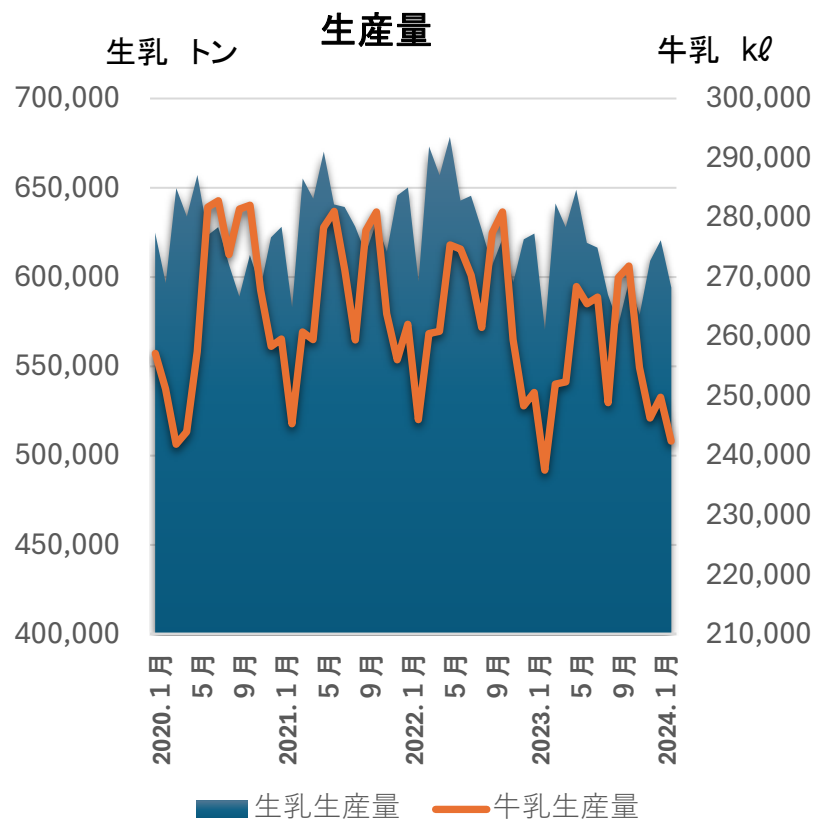


データ元：農林水産省農業物価統計

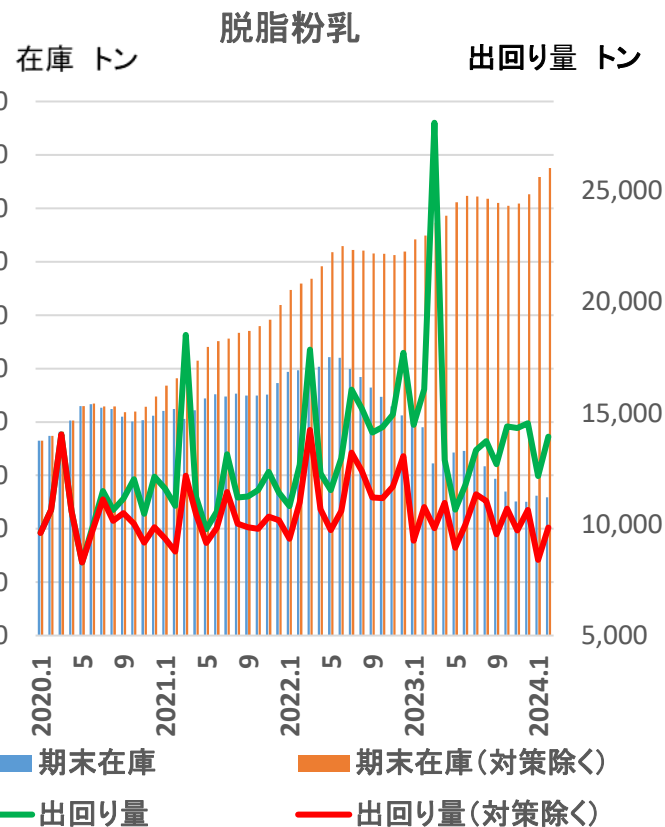
- 配合飼料価格の高騰
⇒4回にわたる生乳取引価格の値上げ

3 酪農乳業の現状

(1) 酪農の現状



データ元: ミルク



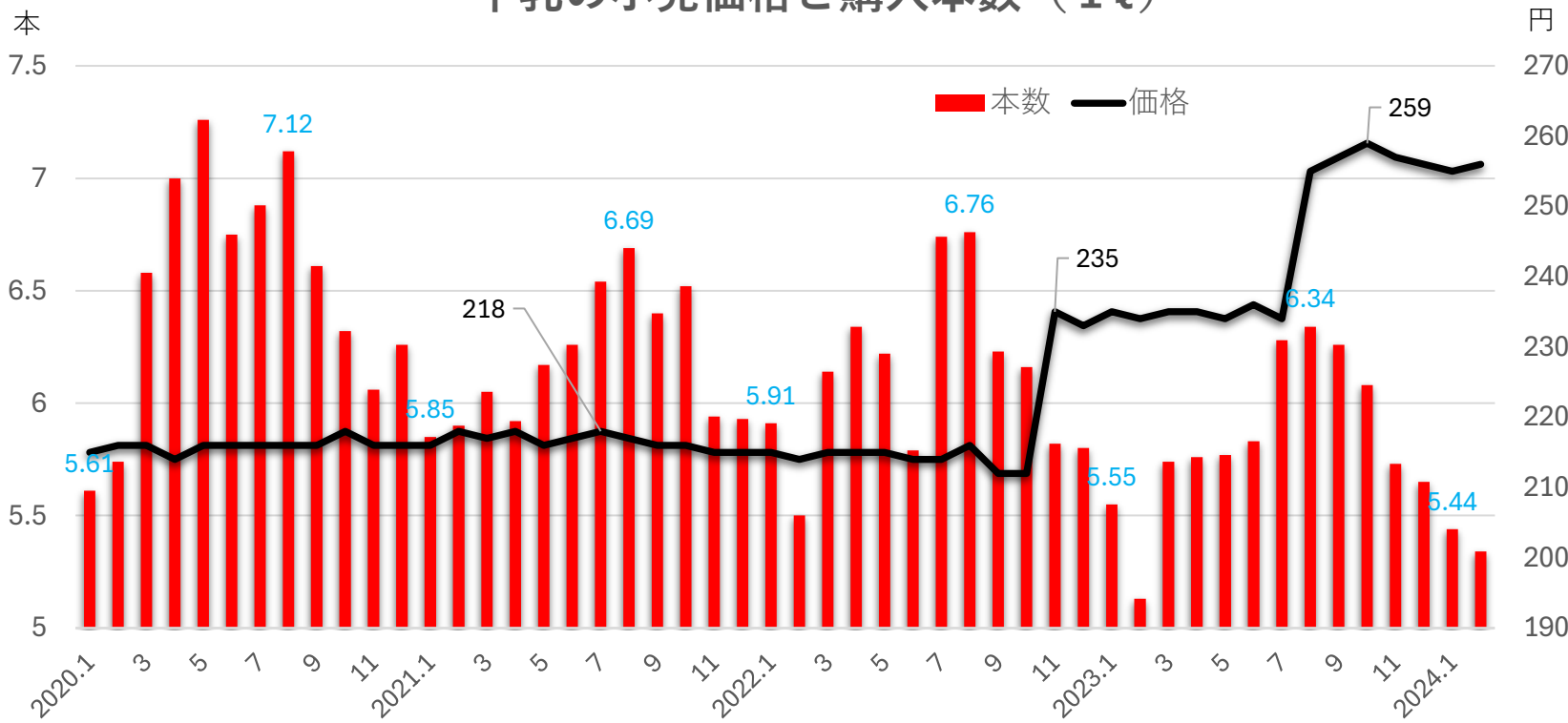
データ元: 農林水産省

➤ 生乳需給大幅緩和
⇒ 2年連続での減産

➤ 脱脂粉乳過剰在庫
⇒ 過剰在庫処理を実施

3 酪農乳業の現状 (2) 乳業の現状

牛乳の小売価格と購入本数（1ℓ）



データ元：総務省

- 包材費、エネルギー費等生産コストの高騰⇒製品価格へ転嫁
- 脱脂粉乳過剰在庫⇒過剰在庫処理を実施

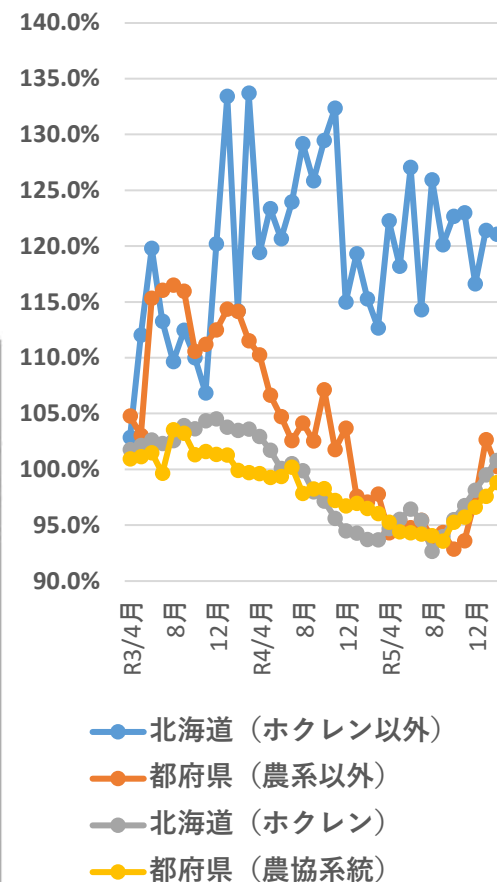
4 課題

(1) 生乳生産・酪農経営

- 特に輸入粗飼料を利用する経営や規模拡大した経営の悪化
- 生産意欲の低下
- 新規就農者確保の困難性増大
- 経営環境悪化に伴う離農増加
- 需給調整に係る生産者間の不公平感の増大
- 後継牛の大幅減少



生乳生産量前年比の推移



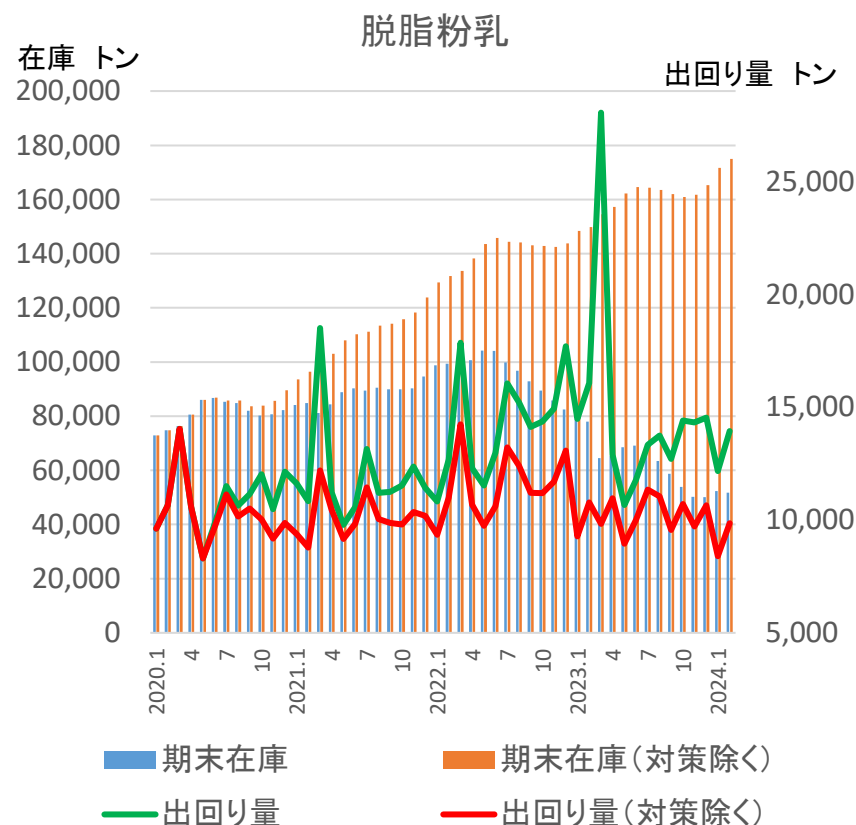
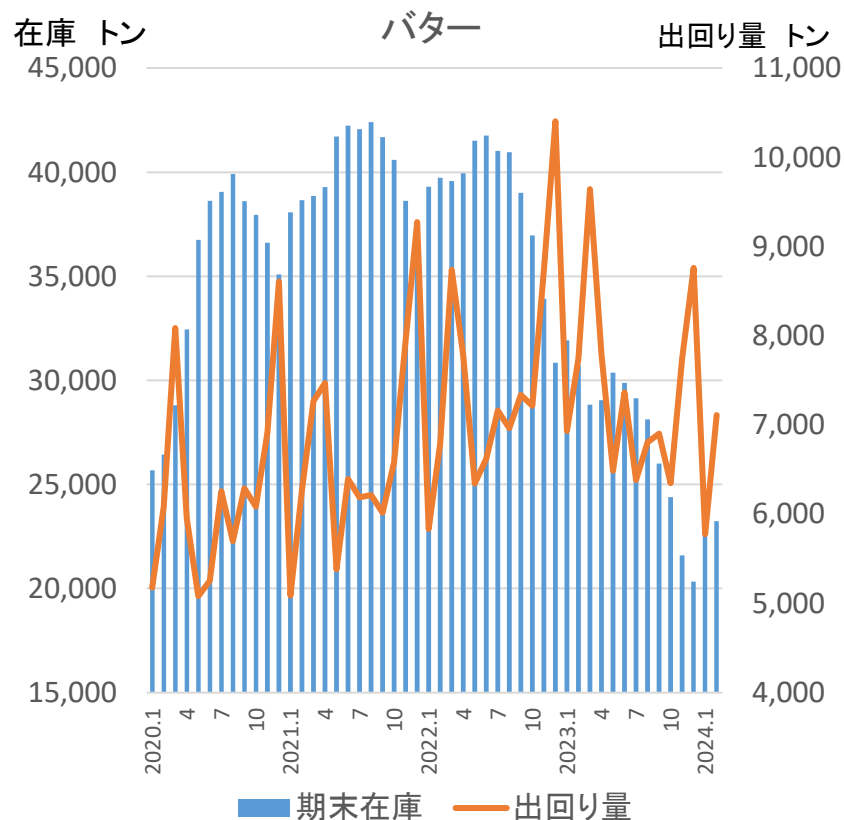
データ元: ミルク

データ元: 中央酪農会議、農水省

4 課題 (2) 需要・乳業経営

➤ 堅調なバター需要と低迷する脱脂粉乳(無脂乳固形分)需要

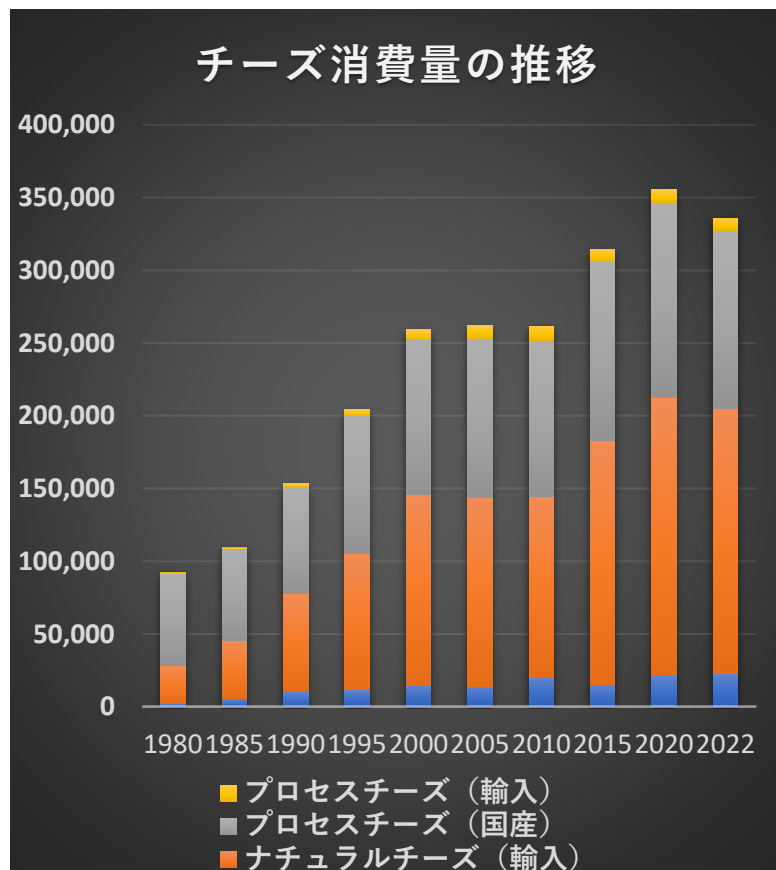
バター・脱脂粉乳の出回り量・在庫量



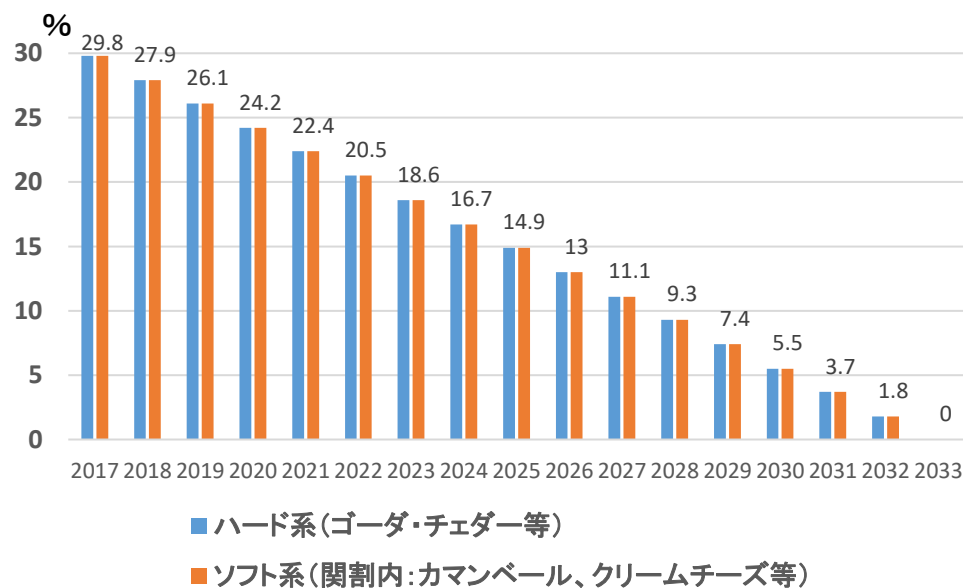
データ元: 農林水産省「牛乳乳製品統計」、ミルク

4 課題 (2) 需要・乳業経営

➤ チーズ関税の段階的引き下げ・撤廃(2033年度)と
これにより関税割当^(※)の効果がなくなる見通し



◆ ナチュラルチーズの関税引き下げ

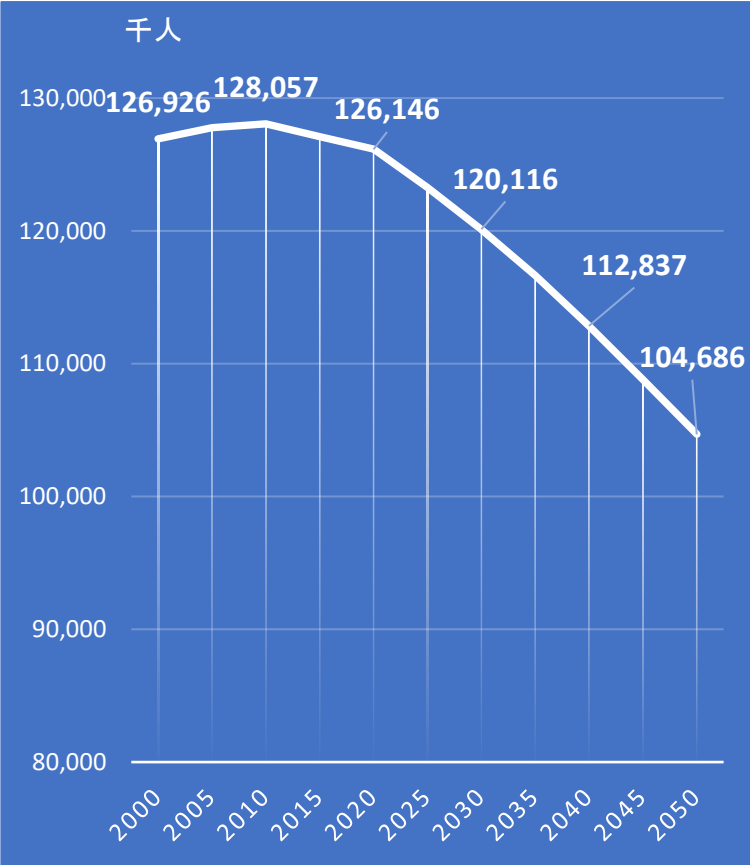


◆ 関税割当(国産抱き合わせ要件付き)
 ※国産品の使用を条件に無税輸入(主にゴーダ・
 チェダー等)を認める制度(国産:輸入=1:2.5)

データ元:農林水産省

4 課題 (2) 需要・乳業経営

日本の人口の推移



データ元: 総務省統計局

➤ 人口の減少に伴う需要減少
⇒ 販売促進・消費拡大の取組

材料3つ! 油少なめ! バナナのころころドーナツ レシピ・作り方

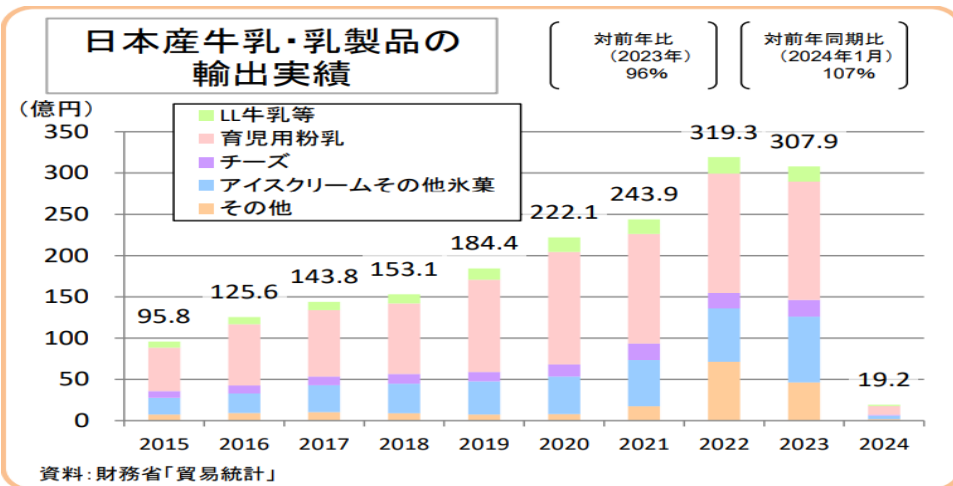
「材料3つ! 油少なめ! バナナのころころドーナツ」の作り方を簡単に分かりやすいレシピ動画で紹介しています。

卵・ベーキングパウダー不要で作れる、サクふわドーナツ! 製菓用の器具なども使わず、思い立ったらすぐ作れるほどお手軽なレシピです。一度食べたら手が止まらないおいしさで、バナナの甘みとメープルシロップの香ばしさが相性抜群。そしてドーナツのお供には牛乳がぴったり! ぜひ、牛乳と合わせて素敵なおやつタイムをお楽しみください。

Sponsored by 一般社団法人日本乳業協会

4 課題 (2) 需要・乳業経営

⇒ 輸出拡大の取組



◆ 牛乳乳製品輸出協議会について

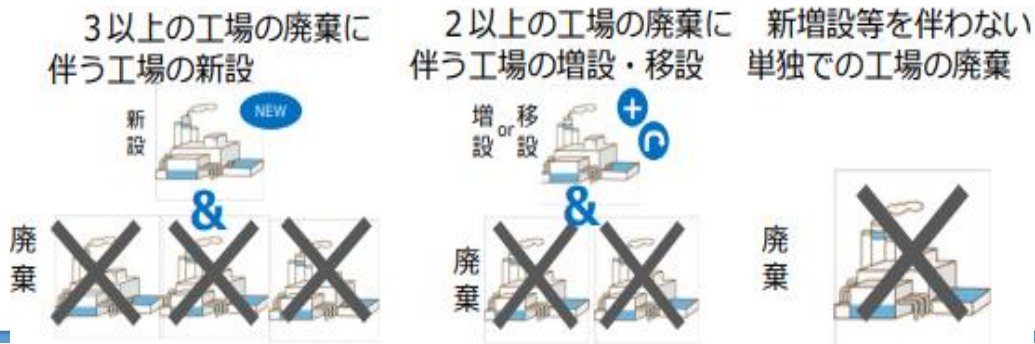
概要: 2023年11月にオールジャパンで畜産物の輸出を行う団体として認定された(一社)畜産物輸出促進協会の下部団体

事務局: (一社) 日本乳業協会
取組例: 市場調査や統一ロゴマークの設定等



JAPAN MILK
& DAIRY PRODUCTS

⇒ 乳業工場の統廃合、乳業の再編整備



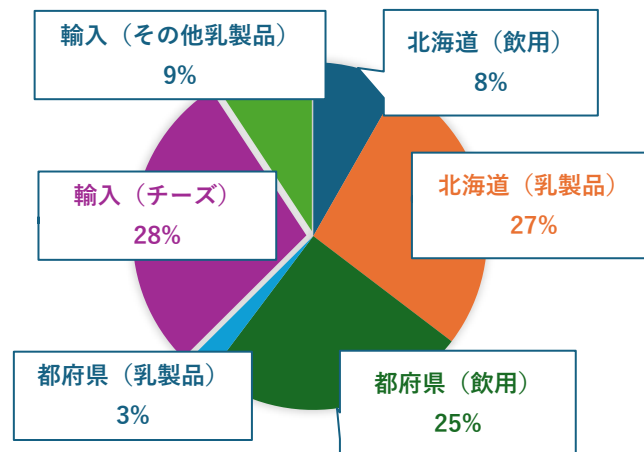
複数の都道府県で生産された生乳[※]にかかる特定乳製品(バター、脱脂粉乳等)の製造施設等の新增設
※北海道、沖縄はこの限りでない。



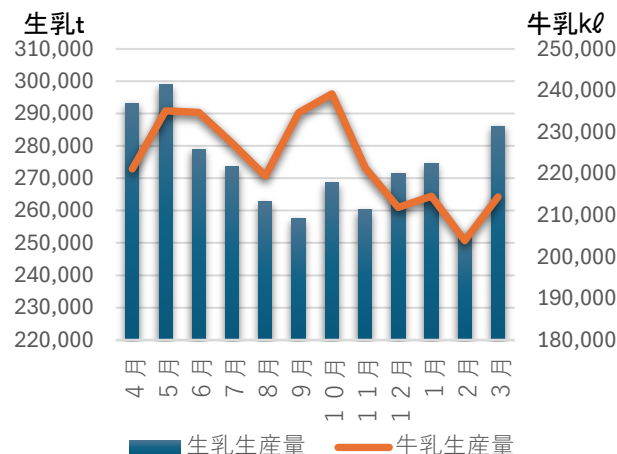
5 仮定：対策なしで対応した場合に生じる課題

- 牛乳乳製品の自給率は約60%、特に牛乳乳製品需要の1/3を占めるチーズは85%が輸入
- 関税割当の効果なくなる見通しや、脱脂粉乳の需要に応じた生産により減産が必要に
⇒需給緩和時にチーズ生産拡大という補助手段が縮小・・・間接的には、肉用牛生産にも影響
- 安定的な牛乳乳製品の供給が困難に
⇒消費地における最需要期の牛乳が不足する可能性
年末の最需要期に向けてバターの造りだめが困難になる可能性

2022年度



都府県の生乳と牛乳の生産量



6 次世代に向けて

➤ 酪農の安定：食料安全保障の確保にむけた環境整備
⇒ 輸出拡大を含めた需要の確保による生産の安定化

➤ 調和：需給と価格の安定
⇒ 生産者間の公平性の確保も必要

➤ 発展：無脂乳固形分の需要確保対策及び需要のある
チーズ生産対策による脱脂粉乳・バターの需要均衡
及び生産の維持
⇒ 酪農関連制度の運用の見直しの検討も必要ではないか



夢と希望のある安定的な酪農乳業を次世代につなぐ

ご清聴ありがとうございました。